

学校だより

志おん



NO. 383

令和8年6月18日

大田市立志学小学校発行

TEL.83-2025

学校HPQRコード



学校教育目標 続けていく 変えていく

学校運営協議会を開催しました

今年度1回目となる学校運営協議会を6月8日の午後から開催しました。委員の皆様にははじめ小中学校での授業や活動の様子をご覧いただき、その後協議に入りました。学校からは今年度の学校経営方針についての説明をさせていただきました。皆様からはそれをもとに、子どもたちの様子、学校に期待することなど、自由にお話しいただきました。委員の皆様からは、

- 学力の向上をテーマに、学校と家庭で進めていくことについて、成果の測り方
- ICT機器の導入に伴い、読解力の低下や漢字が書けなくなることへの懸念
- 保護者が家庭学習に介入・支援するのに、具体的な方法やねらいがわかるとよい
- 志学駅伝の中止は致し方ないと思うが、それに代わる学校行事は作られないのか

といったご質問やご意見をいただきました。

会の終わりには学校長から、「地域あつての学校、学校あつての地域という双方を尊重する思いの中、今後も地域の力をお借りすることで、学校での教育効果を高めていきたい」とお願いして閉会といたしました。ご参会いただいた委員の皆様、ありがとうございました。



平和学習の成果を胸に、5年生修学旅行へ

6月11～12日、5年生が修学旅行へ出かけました。本校の修学旅行は2年に1度高学年が、北三瓶小の高学年と一緒に広島方面へ出かけます。詳しい旅行の様子等は来月号でお伝えする予定です。子どもたちは出発前に平和について考える学習に取り組みました。

1度目は北三瓶小の子どもたちと合同学習の形で、2度目は本校児童のみで取り組みました。

広島に原子爆弾が投下された第二次大戦においては、ここ島根、そして三瓶の地も大きな役割を果たしました。関西方面から疎開してきた多くの子どもたちを受け入れ、また三瓶には軍の兵舎が建設されました。砲弾を撃つ練習が東の原で行われたことなど、当時の写真も見せてもらいながら、講師の須田英典先生には、ていねいにわかりやすくご説明いただきました。



集中して活動 笑顔で仲良く元気よく あきらめずに挑戦する 志学の子

読書週間

6月1～10日を読書週間と名付け、今年度の具体的な取組の一つ、「子どもたちの読書量を増やす」ための働きかけを行いました。授業の中でも、書籍を利用する場面を増やしたり、学校図書館司書さんにも様々なイベントを企画・展開していただいたりしました。その効果は大きく、昨年度の同時期に比べおよそ2倍の貸出冊数となりました。週間の後半は、修学旅行や保育園との交流活動の準備のため、来館数が減ったようでしたが、それでも本に親しみをもち、「読みかけの本のある生活」を実践できました。

山陰エリアに梅雨入り宣言が出されてからしばらく経ちます。6月後半は雨が多くなると耳にしており、まさに「雨読」の季節になるものと思います。昨今の活字離れは子どもに限ったものではなく、大人も同じだと聞きます。ある先生からは「大人が本を読んでいる姿を見せることが、子どもの読書量を増やす一番の近道だ」とも聞いたことがあります。忙しい毎日ではありますが、私たちも少しでも本を読む時間を作っていきたいものです。

交通安全教室を開催しました

6月3日に交通安全教室を開催しました。例年ならば実際に公道へ出て、自転車を運転したり、道路の横断の仕方を学んだりするのですが、あいにくの雨模様で、主にピロティでの実施としました。講師には三瓶の駐在さんをはじめ、町の交通安全対策協議会の皆さんも駆けつけてくださり、安全な自転車の乗り方を中心にご指導いただきました。教えていただく中で印象的だったのが一時停止の仕方についてでした。停止する場所が悪かったり、自分では停止しているつもりでも正しく止まっていなかったりして、注意を受ける場面が多く見られました。



池田保育園の子たちと交流しました

令和6年度末の志学保育園閉園から、保育園の園児たちとの交流活動の機会がなくなりました。この度、遠足で池田方面に出かけ、池田保育園の子どもたちと交流しようと機会を設けました。

保育園近くのお寺の境内をお借りし、小学生が2班に分かれ、事前にみんなで考え、準備していたおもてなしのゲームをして楽しみました。この春まで保育園でお世話になっていた1年生の、すっかり成長した姿に、園の先生方も感動しておられました。交流は低学年で秋にも開催する予定です。



今後の予定

日	曜	行事
19	金	プール開き
20	土	PTA 奉仕作業
23	火	SC 来校日
26	金	授業公開日 給食試食会 救命救急法講習会
7/9	木	学期末懇談会
17	金	終業式 給食最終日